



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

鹿児島県議会ニュース
2012年1月号

12月議会特集

発行/日本共産党鹿児島県議団 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 TEL/FAX:286-3977
E-mail:kengidan@jcp-kagoshima.com ホームページ <http://jcp-kagoshima.com> (右QRコード)
ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』 <http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/>



2012年、新しい年がスタートしました。
昨年は、3月11日の大震災・大津波と原発事故の被害の大きさに胸を痛めながら、政治の責任をどう果たしていくのか、地方議員として、そして、一人の人間として、どう生きていくのか、深く考えさせられました。その後の4月の改選で、3期目の議席をいただき、より一層、県民のみなさんの代弁者として、みなさんの声をまっすぐに、しっかりと県政に届けていこうと決意し、奮闘してきました。

新しい年を迎え、国の政治においては、震災復興と「原発ゼロ」をめざすたたかいが引き続き大事になってきますが、消費税の増税、年金改悪、沖縄の米軍新基地建設の問題、TPP問題など、日本の進路を左右する国政の熱い問題で、いよいよその是非が国民的に問われる年になります

今年も、県民の暮らしや福祉最優先の県政実現めざし、全力で頑張ります。みなさんのご意見やご要望をお聞かせください。どうぞ、よろしく願いいたします。



1月1日、照国神社前で宣伝するまつざき真琴（左から2人目）

12月議会

税金のムダづかいをやめて 県民の暮らしや福祉を守れ

まつざき真琴県議は、12月議会で、2010年度決算の認定や来年度の職員給与の削減などについて反対討論に立ち、次のような理由をあげ、2010年度決算を不認定としました。
採決の結果、他の全ての議員は、決算を認定としました。

第1に、人工島、マリンポートがごしまの建設事業に約8000万円、維持管理費に1億3千万円。島原・天草・長島架橋に建設促進事業と調査事業に計987万円など、不要不急の大型開発の公共事業に多額の事業費が使われている点です。

第2に、企業や外郭団体への支援のあり方について問題点を指摘しました。出水市においては、日本電気がH21年12月に撤退し、地域の雇用と景気に大打撃を与えたにも関わらず、撤退した後のH22度も日本電気に対しておこなった総額34億円のふるさと融資の金利を3,260万円負担しています。また、土地開発公社が行った臨空団地についても8,100万円あまりの金利を負担しています。

第3には、人権同和対策及び、人権同和教育として、特定の運動団体や教育研究団体に補助金を交付し、同じく特定の運動団体が主催者として名前を連ねる大会へ公費で職員を派遣している点です。

第4には、県営住宅の家賃の値上げや、乳幼児医療費助成制度への所得制限の導入。そして私立高等学校の入学金・授業料補助については、国からの支援金が支給されながら、補助単価を削って、総額を減らすなど、県民の暮らしや福祉、教育に関する予算の削減がなされている点です。

第5には、原良団地の現地での建て替え計画を変更し、ガーデンヒルズ松陽台の土地購入を行ったことや公共関与型産廃処分場の建設について、地元住民との合意形成がなされない中での予算執行など、住民本位と言えない県の姿勢の問題も指摘しました。

第6に、県職員の人件費の削減が、総額72億3200万円となり、4月に遡って12月のボーナスより遡及している点です。